

学 界 消 息

京大関係

〔卒業論文題目〕

江戸後期における村落の發展 朝尾 直弘
郵便制度の成立 天野 安治

近世における農村構造の展開 今井美智子
近世岡山城下に於ける閉居制度

河合 均
文芸に現れた中世初頭文化 夏目 十郎
近代日本に於ける農本主義 細尾 幸作

山口 義広
中世地方市場の形成

京大東洋史関係

田村教授受賞記念祝賀会 二月二十四日(水)

於 京大楽友会館

前号既報の如く、今回「慶陵」の研究により、学士院恩賜賞及び朝日文化賞を授与せられた田村教授のため、受賞記念祝賀会を二月二十四日午後五時より楽友会館において開催した。当日は羽田名誉教授・宮崎教授を始め多数が参会した。宴後、当時の苦心の跡の偲ばれる幻燈の映写等あり、八時過ぎ盛會裡に散会した。

新卒業生予餞会 三月二十二日(月)午後二時より、京大楽友会館に於て、新卒業生七名の予餞会が、東洋史談話会の主催により行われた。宮崎・田村両教授をはじめ、教官先輩学生など三十数名が出席し、新卒業生の前途を祝福した。

〔卒業論文題目〕

文化闘争——その背後にあるもの—— 川路 俊三

イギリス労働運動史の一研究

——ケャーティス運動について—— 山本 康哉

普仏戦争における階級の問題

大石 敏

ルイ十四世のメモワールに関する考察

藤本 盛夫

ジャクソニアン・デモクラシー

——銀行戦を中心として——

中村 哲雄

古ゲルマン農制の基本的性格に關しての

中村 幹雄

一試論

マサチューセツツ・ラディカリストの

江川 良一

領袖ジョージ・バンクロフト

渡辺 滋

英国資本主義成立期における庶民に就いて

木曾 晟次

祝した。

京大西洋史関係

本年度は一〇名の卒業生を送つた。卒業生予餞会に二月十八日南禅寺天授庵において行われた。次に卒業論文名を掲げてその卒業を祝した。

一九世紀中國に於ける排外運動——主として光緒一七年長江流域教案を中心として

藤田 光一

黄宗憲の政治思想

上田 和子

四川の仇教暴動——中国排外運動の一考察——

小野 信爾

清代の関税

河内 良弘

岳飛とその時代

勝藤 猛

一九世紀中國の排外運動

千地 一秀

司馬 懿

南村 篤男

バナマ革命について——ルーズヴェル
トの正当性の一考察——

黒木 哲郎

京大地理学関係

本年度の卒業生五名を送るに際して、その予餞会が三月十四日百万辺進々堂にて行われた。尚それに先立つて卒業論文発表のための地理学談話会が地理実習室にて開かれた。左に掲げるように論文のテーマがすべて経済地理に関するものであったことが今年の特徴であらうか。

〔卒業論文題目〕

吉野林業地域の地理的考察 川副 昭人

別子新居浜鋳工業地域の地理学的考察 窪田哲三郎

但馬の磯船底曳網漁業 島田 正彦

日本海西南水域の水産地理的考察

藤村 重美

大阪市に於ける近代工業の発展

藤森 勉

京大考古学関係

考古学談話会 三月二十三日 於楽友会館

学 界 消 息

卒業生子儀・梅原教授帰国歓迎・小林講師の朝日賞・恩賜賞受賞祝賀を兼ねて開かれた。

〔卒業論文題目〕

本邦史前の原始絵画

有川 一男

朝鮮古代文化の性格

原口 正三

梅原教授還暦記念祝賀会(考古学教室友の会)

主催) 四月十八日三条河原町ニューアサヒ

当日雨の中を一三〇名が参集、記念品を贈

呈後、鈴木虎雄・上野精一・那波利貞・西田

直二諸先生方の祝詞があり、ひきつづきビア

・パーティに一同教授の還暦を祝福した。

長峰県志岐郡關嶽遺蹟の調査

三月二十一日——二十八日・四月九日——

二十二日の兩次にわたつて川端真治・金関忠

が同地に赴き、弥生式時代中期初頭に営まれ

たと推定される箱式棺・甕棺群を調査した。

又同遺蹟附近より土木工事に伴つて出土した

銅剣二・銅銚一を将来した。

執筆者紹介

宮崎 市 定 京都大学教授

中村 二 柄 京都学芸大学助教

滝川 政次郎 国学院大学教授

樋口 隆 康 京都大学講師

豊田 堯 京都大学助教

木村 宏 大阪市立大学助手